

1. ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー	
DP1	社会人に求められる教養や規範的判断力を身に付け活用することができる。
DP2	論理的かつ批判的思考力及び判断力のもと、身に付けた専門的な知識・技能を活用することができる。
DP3	異なる価値観を認め合う寛容さと豊かな表現力を身に付け、持続可能な社会の構築に向けて連携・協働することができる。
DP4	国際社会、地域社会、産業界等において、主体的に課題を発見し解決に向けて行動することができる。
DP5	生涯にわたり自己研鑽を重ね、自己実現に向けた意欲を示し活動することができる。

2. アセスメント・ポリシー

#	アセスメント項目	アセスメント・プラン	対応するDP					責任主体	備考
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
1	入学試験	各課程の自己点検にて入学定員充足率（5ヶ年平均）及び取定定員充足率を報告対象として集計しアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
2	新入生調査	入学生を対象に新入生意識調査を実施。結果を集計し回答率及び設問ごとの肯定回答率を算出しアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
3	外部ジェネリックスキルテスト	外部ジェネリックスキルテストの結果を集計し、アセスメントを行う。	○	○	○	○	○	大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
4	GPA（全学）	各課程の自己点検にて年間GPA分布と通算GPA分布を報告対象として集計しアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
5	成績評価（全学）	各課程の自己点検にて主要授業科目の選定を実施し、その成績分布状況と単位修得率を報告対象として集計しアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
6	履修状況（全学）	各課程の自己点検にて主要授業科目の選定を実施し、その履修登録率を報告対象として集計しアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
7	検定/資格	各課程の自己点検にて各検定の受験者数・合格率・（スコア方式検定の場合）平均スコア等を報告対象として集計しアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
8	在学生調査	在学生意識調査を実施し、各学部・研究科の自己点検にて調査回答率と各設問の肯定回答率を報告対象として集計しアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
9	海外プログラム	各課程の自己点検にて各海外プログラムの派遣学生数・参加率・（単位認定のある場合）単位修得率を報告対象として集計しアセスメントを行う。				○		大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
10	インターンシップ	各課程の自己点検にて各インターンシップの参加者数・参加率・（単位認定のある場合）単位修得率を報告対象として集計しアセスメントを行う。 また、担当部局の自己点検にて正課外インターンシップについて受け入れ先数と参加者数を報告対象として集計しアセスメントを行う。	○	○	○	○		大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
11	プロジェクト/ボランティア活動/学生会活動/課外活動等	各課程の自己点検にて各プロジェクト/ボランティア活動/学生会活動/課外活動の参加者・参加率・（単位認定のある場合）単位修得率・活動成果を報告対象として集計しアセスメントを行う。	○	○	○	○		大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
12	地域活動	各課程の自己点検にて各社会連携・社会貢献活動の活動概要の他、参加者と成果を報告対象として集計しアセスメントを行う。 また、担当部局の自己点検にて全学社会連携・社会貢献活動について活動概要の他、参加者数と成果を報告対象として集計しアセスメントを行う。	○		○	○		大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
13	退学率/休学率/進級率	各課程の自己点検にて退学率・休学率・進級率を報告対象として集計しアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
14	学位授与	各課程の自己点検にて学位授与数・学位授与率を報告対象として集計しアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
15	卒業後の進路	各課程の自己点検にて就職率と進学率を報告対象として集計しアセスメントを行う。	○	○	○	○		大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
16	卒業時調査	8月度卒業生及び3月度卒業生を対象に卒業生意識調査を実施。結果を集計し回答率及び設問ごとの肯定回答率を算出しアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
17	検定/資格（国家資格）	各課程の自己点検にて各国家資格の受験条件充足率・受験率・合格率を報告対象として集計しアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
18	養成課程	各課程の自己点検にて各養成課程の修了者数・修了率を報告対象として集計しアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	
19	卒業生（OB・OG）調査	本学卒業生を対象に卒業生アンケートを実施。結果を集計し回答率及び設問ごとの肯定回答率を算出しアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	大学運営会議・執行部会議・全学自己点検評価委員会	

城西国際大学 全学（機関レベル）新旧DPマッピング表

◆新DPと旧DPの比較

新ディプロマ・ポリシー (2022年度入学生から適用)	
DP1	社会人に求められる教養や規範的判断力を身に付け活用することができる。
DP2	論理的かつ批判的思考力及び判断力のもと、身に付けた専門的な知識・技能を活用することができる。
DP3	異なる価値観を認め合う寛容さと豊かな表現力を身に付け、持続可能な社会の構築に向けて連携・協働することができる。
DP4	国際社会、地域社会、産業界等において、主体的に課題を発見し解決に向けて行動することができる。
DP5	生涯にわたり自己研鑽を重ね、自己実現に向けた意欲を示し活動することができる。

旧ディプロマ・ポリシー (2021年度入学生まで適用)	
DP1	社会が求める職業人として相応しい教養や倫理観を有し、論理的かつ批判的思考力及び判断力のもと、専門的知識・技能を活かせること。
DP2	異なる価値観を認めあう寛容さと豊かな表現力を身につけ、持続可能な社会の構築に向けて連携・協働できること。
DP3	国際社会・地域社会・産業界等において、主体的に課題を発見し解決に向けて行動できること。
DP4	生涯にわたり自己研鑽を重ね、自己実現に向けた意欲を示し活動できること。

◆新DPと旧DPのマッピング

新DP	旧DP									
DP1	<u>DP1</u>									
DP2	<u>DP1</u>									
DP3	<u>DP2</u>									
DP4	<u>DP3</u>									
DP5	<u>DP4</u>									

備考